

東京大学 **VS** 明治大学
WARRIORS GRIFFINS

2021 秋シーズン

開幕戦

10.2(土)13:30



東京大学運動会アメリカンフットボール部

ご挨拶



監督

三沢英生

春シーズン、自分たちの未熟さや精神力のなさ、責任感のなさ、忍耐力のなさ、勇気のなさに気付かされました。この気付きは何より大きく、我々の行動規範の「挑戦」「正義」「謙虚」を体現し、新たなことに挑戦し続ける姿勢を身に付け、正々堂々と議論し、謙虚に学び、個々だけでなく、チーム全体において、常に変革が断行され、チームそのものが生まれ変わったかのごとく自律的に成長しました。秋のリーグ戦では徹底的に勝ちにこだわり、勝利をもぎ取ります。どうか学生達の活躍ぶりにご期待ください！



HC

森清之

日頃より弊部に温かいご声援とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年のチームは攻守ラインを中心にサイズに恵まれた選手が多いものの、スターターの半数以上は実戦経験がほぼゼロという状態から始まりました。春は結果が出ず苦しいものとなりましたが、その経験と夏の練習を経てチーム力は確実にアップしています。強豪揃いのTOP8の中で激しさと粘り強さを発揮し、一寸の虫にも五分の魂があることを示しますのでどうぞご期待ください。



主将

吉田慶二郎

学生生活4年間の集大成なので、日本一という目標を達成するために、目の前の1試合、目の前の1プレーにおいて、持てる力を全て出し切るだけだと思っています。コロナで思うようにいかなかったもどかしさ、春シーズンの悔しさ、支えてくださる皆さんへの感謝、全ての思いをのせて、フィールドに立つ全員が笛が鳴るまで激しく、泥臭くプレーするところを見ていただきたいと思います。

注目選手紹介

OFFENSE



3年 TE 貞方龍之佑

春シーズンを通してオフェンスとしてのタッチダウン数が2回のみと厳しい現実を突きつけられました。TEはランプレーにもパスプレーにも深く関わるポジションなので、自分の手腕がオフェンスの総力アップに直結すると捉え、日々の練習に取り組んできました。その集大成として、秋シーズンではタイトユニット、ワイドユニットともにタッチダウンを量産します。応援のほど宜しくお願いします。

DEFENSE



4年 DL 上野仁之介

明治大学とは2年前に戦いましたが、悔しい思いをしました。今年はトイ面をパワーで圧倒し、やられた分をやり返します。また、自分は今年が日本一になる最後のチャンスです。自分の全てをぶつけ勝利に貢献します。応援よろしくをお願いします。

KICKING



3年 DB 井上慎也

キッキングは東大の生命線で、その出来が勝利に直結します。攻めのプレーを貫いてオフェンス、ディフェンスにいい流れをもてきたいと思います。ハードヒットとハードタックルで相手を圧倒し、勝利に貢献できるように頑張ります。



3選手が意気込みを
語ってくれた
動画はこちらから

vol.1 ウラガワ WARRIORS

普段、激しい練習に励む部員たちのウラガワをお届け！

イヤブック撮影オフショット



▲幹部のショットは締まった表情で



▲今年の Last season message の撮影は、例年以上に個性が爆発していました。

通算成績 (2000 年以降)

東京大学



1 勝 vs 7 勝



明治大学



WARRIORS

2020 年秋リーグ成績

- vs 中央大学 ○ 10-7
- vs 法政大学 ● 0-34
- vs 日本大学 ● 6-30
- vs 早稲田大学 ● 7-40

2021 年春シーズン成績

- vs 法政大学 ● 9-36
- vs 成蹊大学 ● 14-32
- vs 駒澤大学 ● 3-10
- vs 筑波大学 ● 7-28

GRIFFINS

チーム情報：明治大学アメリカンフットボール部は日本アメフト界の草分けとして、早稲田、立教と共に 1934 年に誕生した伝統あるチームです。これまで5度の甲子園ボウル出場を誇るチームですが、近年は出場を逃してきました。そして、今年1月には明治大学アメフト部の黄金期を作り上げた野崎和夫総監督が逝去されました。故野崎総監督の思いを背負って、今シーズン再び甲子園ボウルに返り咲くことはできるのか必見です。

2020 年秋リーグ成績

- vs 法政大学 ● 23-31
- vs 早稲田大学 ○ 28-21
- vs 桜美林大学 ● 7-17
- vs 立教大学 ○ 21-13

2021 年春シーズン成績

- vs 慶應義塾大学 ● 14-22

WARRIORS の夏練習

TOP8 に昇格して3年目となり真価が問われる WARRIORS は春シーズン1勝もできずに夏を迎えてしまいました。しかし、WARRIORS は悲観することなく前を向いていました。森ヘッドコーチも夏前に、春シーズン全敗したけれど今年のチームはこれまでのチームよりポテンシャルがあると話していました。そして夏練習が始まり、選手はアメフト漬けの日々を送ります。暑い中でのランやトレーニングメニューに選手らは苦しみつつも、練習の中でも「戦う」という意識を持つことを心掛け、徐々に良いプレーが出てくるようになり、選手もそれを実感していました。



PLAY BACK

≡ ≡ ≡ 前回の対戦

2019年に行われた前回の東京大学 WARRIORS と明治大学 GRIFFINS の対戦を振り返ってみましょう。

明治のキックで試合開始。東大ディフェンスは LB#41 中川(廉)のロスタックルや、#19 助川や LB#94 関(剛)のタックルなど好プレーが続くも、先制タッチダウンを許します。その後も東大はオフェンスの歯車が上手く噛み合わず厳しい展開が続き、明治の攻撃では内外交えたランプレーを主軸としたオフェンスに翻弄され、フラットへのパスで追加タッチダウンを許してしまいます。

試合再開後東大オフェンスは QB#14 伊藤(宏)から WR/TE#96 永幡へのパスや、RB#31 大路のラン、WR#97 馬渡へのパスで敵陣に攻勢をかけ、フィールドゴールを選択し K#20 張が見事成功させました。ここで前半が終了し、3-14 で東京大学ビハインドの展開。

後半東大の K#2 児玉のキックで始まり、明治の攻撃に東大は DL/LB 中心に粘り強いディフェンスを見せ、明治のオフェンスをパントに追い込みます。その後も東大の #6 梅澤や #19 助川によるインターセプトが続き、東大ディフェンスの好プレーは目立つものの、オフェンスはタッチダウンをなかなか獲得できません。そして粘り強いプレーを見せる東大ディフェンスもついに追加点を許してしまいます。

しかし失意の中、東大オフェンスは再び息を吹き返します。WR#7 伊理へのパスなどで順調に前進し、最後は RB#32 樋山によるランで待望のタッチダウン!! しかし、その後明治の勢いづいた攻撃を東大は止められず、最終的には 10-28 で東大は敗北しました。この結果、東大の TOP8 での初勝利はお預けとなり、一方明治大はこのシーズン初戦から 2 連勝となって好スタートを切りました。



2019. 09. 15 Sun

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
明治大学	7	7	0	14	28
東京大学	0	3	0	7	10

Engate の利用方法

Engate とは、スポーツ特化型のギフトングサービスです。無料で会員登録、チームをフォローすることでチーム / 部員に直接応援メッセージを送れるなど、楽しい機能があります！ぜひ WARRIORS のフォローをお願いします！

新規会員登録の方法



フォローの方法



今後の試合日程

10/24 (日) 14:30 KO vs 早稲田大学 11/14 (日) 10:45 KO vs 桜美林大学

11/27(土) or 28(日) 順位決定戦

WARRIORS の日本一を目指す戦いはまだ始まったばかりです。これからも厳しい試合が続きます。皆さんの応援が選手の力となりますので、熱い応援よろしくをお願いします！

各種 SNS 情報



WARRIORS 公式 instagram, twitter は左記 QR コードを読み取ることでフォローできます。皆さんのフォローお待ちしております！

